

名古屋大学博物館・教授または准教授公募要領

1	募 集 件 名	教授または准教授の公募	
2	募集者の名称	国立大学法人東海国立大学機構	
3	所 属	名古屋大学博物館	
4	募 集 内 容	[職務内容（業務内容、担当科目等）] フィールドを主体とした自然史学に関する専門的研究を行う。また大学博物館の全体運営を博物館スタッフと連携し円滑に行い、大学教育、次世代教育、展示、知の創造と継承、標本収集、国際交流を積極的に展開する。地域社会のアカデミズムに接する機会及びコミュニティ活動の場の提供や、インターネットを通じた情報発信等を推進し、博物館管理・運営業務を実施する。 ＜担当授業科目＞ 博物館概論、博物館資料保存論、博物館実習、 地球史学セミナー1A,1B,1C,1D,2A,2B,2D、基礎セミナーA 等（変更の範囲） ・博物館活動、展示等に関する業務 （変更の範囲） ・東海国立大学機構が指定する業務 [勤務地] （雇入れ直後）愛知県名古屋市千種区 （変更の範囲）東海国立大学機構が指定する就業場所 [募集人員] 教授または准教授・1名 [着任時期] 令和9年4月1日	
5	募 集 研 究 分 野	大分類	自然史学
		小分類	考古学
6	勤 務 形 態	常勤 契約期間：期間の定めなし 試用期間：あり（採用日から6か月）	
7	応 募 資 格	[必要な特定分野の資格・条件（学位などを含む）・専門性等の詳細] （１） フィールドを主体とした考古学をベースにした研究者で、資料の分類と研究、資料から新たな学術情報の抽出、学術資料を用いた大学教育・展示活動を担当できること。 （２） 近隣の大学・博物館等と連携し、次世代教育活動を担当できること。 （３） 大学博物館の運営に積極的かつ博物館スタッフと協調性を持って関わり、東海国立大学機構としての岐阜大等との連携を推進できること。 （４） 博物館の全体計画に鑑み、次世代教育、異分野交流、国内外の博物館や研究者との交流・情報発信、標本の保存科学的研究の計画立案等に関する経験を有し、大学史にも関心を持ちながら、名古屋大学博物館のこれまでの実績を継承・発展させることができること。 （５） 博士の学位を有すること。	
8	待 遇	[採用後の待遇（給与、勤務時間、休日、保険等）]	

		・東海国立大学機構職員就業規則の定めるところによる。 https://public1.legalcrud.com/thers_ac/act/110010928.html ・給与は東海国立大学機構名古屋大学年俸制適用教員給与規程において定める年俸制とする。 https://public1.legalcrud.com/thers_ac/act/110001585.html ・専門業務型裁量労働制により、1日7時間45分働いたものとみなされる。 ・休日：土・日曜日、国民の祝日、年末年始（12月29日～1月3日） ・加入保険：文部科学省共済組合、厚生年金、労働者災害補償保険、雇用保険 ・受動喫煙防止措置：原則としてキャンパス内は喫煙禁止
9	応募期間	令和8年7月24日 ～ 令和8年9月25日
10	応募・選考結果通知連絡先	[応募方法（提出書類の送付先）] 応募書類は下記の電子メールアドレスに添付ファイルで送ること。 （1）履歴書 （2）研究に関するこれまでの実績と今後の抱負、計画、展望（2000文字程度、その内容を示す概要図1枚） （3）研究業績リスト（①査読論文（主著者（筆頭著者）ではないが、責任著者（corresponding author）となっているものには○印を、国際共著論文（海外大学・機関との共著論文）は＊印を付してください。論文等では、共著者はすべて掲載順に記載し、自身の名前に下線を付けること。下記（4）の主要論文（3編）は◎を付けること）、②その他論文、③講演・口頭発表等、④書籍等出版物、⑤受賞歴、⑥競争的資金等の研究課題（競争的資金の種別、研究課題名、代表・分担の別（科研費の場合）、獲得金額、期間等、詳細を記載）、⑦特許、⑧指導歴・担当経験のある科目、⑨学内及び学外の委員歴、⑩その他（社会貢献項目等） （4）主要論文別刷り（3編以内）とグラフィカルアブストラクト（それぞれ1枚） （5）大学博物館としての現在の課題及び将来ビジョン、今後の抱負（2000文字程度、その内容を示す概要図1枚） （6）所見を求めうる方の2名の氏名、所属、連絡先 （送付先） 長嶋かよ nagashima1@num.nagoya-u.ac.jp （メールのタイトルは、「博物館教授/准教授公募への応募書類の送付」とすること） ※ファイルサイズが大きい場合、受信できない可能性があります。可能な限りファイル共有サーバーをご使用くださるようお願いいたします。メール受信後は、受信確認の連絡をいたします。連絡のない場合は、お電話(052-788-6192)でご確認をお願いいたします。 [選考内容（選考方法、採否の決定）] ・書類選考の上、面接を実施。 ・面接実施者については、電話で連絡を行う。
11	その他	・名古屋大学は業績（研究業績、教育業績、社会的貢献、人物を含む。）の評価にお

	いて同等と認められた場合には、女性を積極的に採用します。 ・提出された書類については、本選考以外の目的には使用しません。 ・応募書類は、本選考委員会が責任を持って処分し、返却しません。 ・面接に要する交通費は支給しません。 ・2021 年 11 月、経済産業省の告示により「外国為替及び外国貿易法」（外為法）に基づく「みなし輸出」における管理対象の明確化されることとなり、日本国内の技術提供においても、大学・研究機関における教職員及び学生への機微技術の提供の一部が外為法の管理対象となりました。これに伴い、本公募に応募の際、「類型該当判断の自己申告書（様式 1）」の提出が必要となります。以下から自己申告書をダウンロード・記入し、他の応募書類とともにご提出ください。また、採用時には別途「誓約書」の提出が必要となります。 参考 https://www.meti.go.jp/policy/anpo/law_document/minashi/jp_daigaku.pdf 様式 1 https://nuss.nagoya-u.ac.jp/s/8makynSm7qRswjJ ※類型該当性の判断について不明な場合は下記にお問合せください。 名古屋大学学術研究・産学官連携推進本部 安全保障輸出管理事務局 E-mail：anzen@aip.nagoya-u.ac.jp ・本学では、多様性の推進やワークライフバランスの促進に、積極的に取り組んでいます。詳細については以下の URL をご覧ください。 ジェンダーダイバーシティセンターWebサイト：https://www.kyodo-sankaku.provost.nagoya-u.ac.jp/ダイバーシティ、エクイティ、インクルージョン&ビロギング (Diversity, Equity, Inclusion & Belonging: DEIB) 推進宣言：https://www.thers.ac.jp/about/declaration/deib/index.html ・出産・育児・介護・病気等の理由により、過去に研究活動を中断・遅延した期間があれば、その点を履歴書に記載することができます。本学ではそれを記載したことにより、不当な評価を受けることはありません。
--	--